

埼玉親善大使レポート

Octubre de 2015

長山優子

秋になりました

こちらメキシコシティでは、9月下旬から秋になったと天気予報で報じられました。秋になって朝晩少し肌寒い時はあるものの、まだまだ日中の日差しは強いここ、メキシコシティ。スポーツの秋ということで、前回お伝えできなかったメキシコの伝統スポーツをご紹介しますと思います。

伝統スポーツ

こちらでは、国が伝統スポーツの振興に力を入れているらしく、日本でいう蹴鞠のような位置づけの伝統スポーツが盛んに行われています。

私がこちらに来た当初、大家さんの家に泊まっていた早稲田大学のスポーツ科学学術院所属助手の小木曾航平さんと知り合いになり、伝統スポーツの発表会場に連れて行ってもらいました。会場はソカロ（街の中心の広場）にあり、そこでは二つのスポーツが披露されていました。

一つは、身につけたグローブのようなものでボールを打つ競技で、La Pelota Mixteca と呼ばれています。重さ4キログラムのグローブで、布を巻いたような800gの弾まないボールを器用に打つ人たちを見て驚きました。

もう一つはLa Pelota Prepecha という競技です。メキシコシティの南、現在のハリスコ州全域に居住するPrepecha 族に伝わる競技だそうで、これは学校などでも取り上げられるくらい、メキシコ人に知られているものだそうです。小木曾さんの計らいで体験をさせていただきました。



La Pelota Prepecha 体験中の私

ホッケーのように、パスを回しながら相手方のゴールにボールを持っていくのですが、その時、体の向きはあらかじめ決められた向きのままにしなければいけません。なので、どのようにパスを回していくのかが、ものすごく難しい競技だなという印象を持ちました。

これらの競技は、スペイン占領前の遺跡の壁画にも描かれているそうです。

日本でも活動があります！

小木曾さんは早稲田大学で民族スポーツの研究を行っており、先日フェイスブックにて、Japan Pelota Mixteca Asociation を立ち上げました。興味がある方は一度このページを訪れてみてくださいね。



Zocalo にて行われていた Pelota